



# むくのきだより



2月号

平成31年1月31日

港区立赤羽幼稚園

園長 宮崎 直人

園長 宮崎 直人

もうすぐ節分・立春を迎えますが、厳しい寒さが続いているこの頃です。風邪やインフルエンザが全国的に流行しています。近隣の小学校では、学級閉鎖を行っている学校もあるようです。幼稚園においても、風邪やインフルエンザを予防するために、うがい・手洗いの徹底を継続して行っているところです。

さて、1月は、こま回しや凧揚げ、羽根つきなど、日本の伝統文化に親しむ機会が数多くありました。誕生会でも、お正月飾りや門松の意味、七草粥、鏡割りなどにまつわる話をしました。そして、1月11日（金）には、獅子舞お囃子の会がありました。地域の方のご協力により、日本の伝統文化である獅子舞とお囃子を見せていただきました。獅子舞に頭を噛まれて驚いている子もいましたが、皆とても楽しんでいる様子でした。参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

1月24日（金）の午後には、赤坂区民ホールで「港区連合観劇会」がありました。ブーク人形劇団が、「しちめんちょうおぼさんのこども」と「1ぱつ9のごうけつハンス」を演じてくれました。子供たちは、人形や劇団の人たちの動きやセリフに、笑ったり驚いたり、座席から身を乗り出すようにして見ていました。どの子も劇に夢中になっている様子がよく分かりました。道の歩き方や電車の乗り方も、安全に気を付けてしっかりとできていたと思います。お迎えのご協力をありがとうございました。

さて、2月2日（土）の発表会に向けて、子供たちは、一生懸命練習に励んでいます。発表会では、子供たちが歌を歌ったり、合奏をしたり、劇を行ったり、明るく元気よく表現します。

さくら組では、歌は元気よく、劇では自分のイメージした動物にのびのびとなりきりながら、合奏はそれぞれの楽器の面白さを感じながら取り組むことを大切にしています。保護者の方に観に来てもらうことを楽しみにする様子も見られます。

ゆり組では、歌には気持ちを込めて、劇では様々な表現を友達と工夫しながら、合奏ではみんなの音をよく聞いて取り組むことを大切にしています。当日に向けて張り切って取り組む様子が見られます。

発表会は、この一年間の集大成となる大きな行事です。ご来園いただき、励ましの声をかけていただきますようお願い申し上げます。

